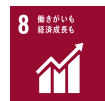




協力会社とともに

協力会社との活動を通じて問題解決を図ることで
技術力の継続的な改善に取り組んでいます。



協力会社との活動

当社が安全に高品質な建築設備をお客さまの希望する期日までに提供するには、工事を計画・管理する当社と施工を担う多くの協力会社が一体となり、技術力と技能を兼ね備えた協働作業が不可欠です。

当社には長年の信頼関係に裏付けられた協力会社組織が各事業所にあり、そこではテーマごとに専門職種が集まり分科会活動を実施しています。分科会活動の内容は多岐にわたりますが、昨今は技能労働者の高齢化、若者の入職減にともなう人手不足に対応するための効率化・省力化工法が重要なテーマとなっています。

当社は、安全・品質・コストなどの「技術力」のさらなる向上を目指し、これからも協力会社との『ものづくり』でお客さまの要望、期待に応えていきます。

分科会活動(活動内容の記録)

■ 2019年度大阪本社安全衛生協分会分科会活動

分科会名	テーマ、主な活動
電気分科会	●コスト低減策・技術の伝承
横串研究会 (安全)	●現場巡回による事故未然防止 ●安全衛生に関する要望の把握
横串研究会 (環境)	●現場環境改善について討議
横串研究会 (資材・工具)	●省力化・施工効率商品の発掘と評価
横串研究会 (品質・省力化)	●プレハブ化・ユニット化の事例紹介と意見まとめ
機材分科会	●現場支援、施工効率化・省力化提案、 新製品紹介

VOICE

協力会社の声

「大阪大元会」

大阪大元会は、発足してから5年目となり、会員の皆さまにご協力をいただきながら、「事業継続計画(BCP)」を中心にさまざまな活動を継続しています。

今年度は、新型コロナウイルスの影響で定期総会が中止となるほか、さまざまな活動の縮小や延期が見込まれますが、状況を慎重に見極め、大阪大元会の今後の方向や方針などについて検討していきます。

また、具体的な活動についても、再開時期や感染拡大防止対策を検討しながら、講習会・見学会の充実を図り、会員の皆さまの満足度を高めることで、より良い活動になるよう準備を進めていきます。

大阪大元会75社は、ダイダン株式会社様との連携を深めてまいります。



大阪大元会 会長
株式会社三好板金工作所 代表取締役
船田 浩史 様

「大阪本社安全衛生協分会」

大阪本社安全衛生協分会は、災害防止に努めるべく、ダイダン株式会社様と連携し、継続した注意喚起を発信しています。

今年度は、新型コロナウイルスの影響で、定例の安全衛生協議会に加え、分科会活動発表や品質向上大会での成果発表なども延期が見込まれますが、このような状況だからこそ、会員の皆さまと一体となって、ルールを遵守するとともに、作業ごとの指差呼称を徹底することで、災害防止に努めたいと考えています。

大阪本社安全衛生協分会は、ダイダン株式会社様とともに災害ゼロを目指し、最善を尽くしてまいります。



大阪本社安全衛生協分会 会長
高揚工業株式会社 取締役会長
小南 高治 様

労働災害撲滅を目指した労働安全衛生活動の継続的な改善、向上

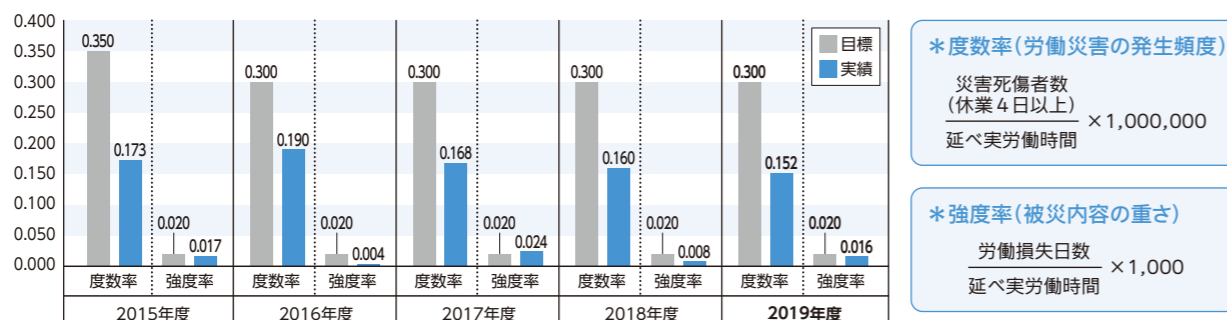
安全衛生方針

「安全衛生の確保」は、企業がそこで働く人々と家族や社会に対し果たすべき責務である。

ダイダンは、国籍、年齢、性別、障がいの有無等にかかわらず、当社に働くすべての人々の「安全」と「健康」を最優先に考え、経営トップの下に全従業員が協力し、生産性の向上を図り、働きがいのある職場環境の構築に努め、社会から信頼される企業を目指す。

- 労働災害撲滅を目指して労働安全衛生マネジメントシステムを活用し、あらゆる活動における危険性、有害性を除去し、労働安全衛生活動の継続的な改善、向上に努める。
- 労働安全衛生関係法令、当社の安全衛生管理規程などを遵守し、役職員の安全衛生水準の向上、健康保持増進に取り組み、快適で働きがいのある職場づくりを目指す。
- 働き方改革を継続し、ワーク・ライフ・バランスの向上により、『人』が中心の希望と魅力のある会社を目指す。
- 協力会社との良好なコミュニケーションを図り、役割を明確にして、自主的に安全衛生活動の活性化を図る。
- ダイダンに働くすべての人々に対し、安全衛生方針を周知徹底するとともに、一般に公開する。

安全成績



2019年度の取り組みと評価

目標

- 墜落・転落災害の根絶
- 長時間労働の削減

重点項目

- 予防型安全管理の徹底
- 労働時間管理の徹底、休暇取得の促進



藤澤社長
安全パトロール

2019年度の労働災害発生状況は、前年度に比べて2件増の44件となりました。度数率は前期を若干下回りましたが、「墜落・転落災害」の休業により強度率は増加しました。

引き続き、「墜落・転落災害の根絶」を目標に、施工計画の抜本的な見直しや高所作業における作業手順の事前検討、法令に則った安全施設の設置・整備等日常管理の順守を徹底します。

また、ヒューマンエラーの防止を図るため、各人が基本動作、基本行動を徹底し、決めたルールを必ず守り、妥協しない安全管理を目指します。

さらに、社長安全パトロールを実施し、経営トップのリーダーシップのもと、従業員ならびに関係者が一丸となって労働災害の撲滅を推進しています。

2020年度は以下をポイントにあげ、改善に向け全社で取り組んでいます。

- ① 予防型安全管理の徹底
- ② 過重労働防止策の促進
- ③ 健康保持・増進策の実践

マイスター制度の活用と全国規模での協力会社とのパートナーシップの確立

協力会社との強固なパートナーシップによる確かな品質の提供

ダイダンマイスター制度

ダイダンマイスター制度は、現場の安全で効率的な運営および品質向上のため、協力会社の優秀な職長を確保することを目的として、2011年から実施しています。

「マイスター」のほか、より多くの「優良職長」「上級職長」の育成を目的に、登録基幹技能者等の高度な資格の取得者に対する費用の補助や、「マイスター」「優良職長」への当社現場での勤務に対する表彰金の支給などを行っています。

2020年7月には、資格取得において39社70名、現場貢献において142名の「マイスター」「優良職長」が表彰されました。

「マイスター認定式」を開催

2019年12月に第9回「マイスター認定式」を開催しました。当社現場に従事された職長の中から、736名の上級職長、15名の優良職長を新たに選出し、最も優れていると評価された2名をマイスターとして認定しました。

これまでに認定されたマイスターは、電工11名、配管工16名、ダクト工7名、冷媒配管工3名、保温工5名の計42名となりました。



マイスター認定式

VOICE

マイスターの声

昨年12月にダイダンマイスターに認定していただき、嬉しいという思いの反面、その責任の重さを感じています。私が現場で心がけていることは、作業員一人ひとりの体調管理と作業目標の達成です。朝のKYミーティングでの対話を通じ体調を確認し、『今日はここまで作業を進めよう!』と周知することで、作業遅延防止と安全強化につながると考えています。また、現場ルールの順守と品質管理・工程管理、何よりも作業員の安全を現場担当者さまとともに守っていくことも、私の大事な使命だと思っています。そのためにも、コミュニケーションを図りながら日々変化する現場状況を把握し、タイムリーに作業が進むよう注力しています。私自身の経験を伝えていくことで、現場全体での技量向上を推進し、作業員一人ひとりの技術と知識を最大限に活用できるような現場運営を目指してまいります。今後も、ダイダンマイスターの名に恥じぬように日々の努力を怠らず精進いたします。



五洋電気株式会社 辻村 昌隆 様

ダイダン協力会社ネットワーク

建築設備業界の環境は、人材の確保に大きな地域差があり、不安定な状況といえます。また、作業員の高齢化や引退もあり、人材不足は深刻な問題です。このような環境の中、当社では柔軟な施工体制を確保するため、作業員不足が想定される事業所に全国から人材を派遣できる、事業所の枠を超えた全国規模の「協力会社ネットワーク」を構築いたしました。

このネットワークを有効に活用し、各現場の施工体制を確保するとともに、協力会社間の交流により、技能力を向上させる機会を増やしていきます。そして、安全かつ高品質な建築設備をお客さまに提供してまいります。